

# カスタムイメージ利用時のhostsファイルについて

## 1. はじめに

本ドキュメントはECSでカスタムイメージからインスタンスを作成した際の、/etc/hostsファイルの更新の動作についてまとめたものです。

ECSではカスタムイメージからインスタンスを作成する際に、hostsファイルに対して一部の情報の更新と追記を自動的に行います。hostsファイルを独自に変更が必要な場合にはいくつかの注意が必要です。

## 2. 動作

ECSではカスタムイメージからインスタンスの作成時に、hostsファイルに対して、下記の情報の追記・更新を自動的に行います。

<hostsファイルへの更新内容>

1. IPv4 localhost設定をデフォルトにクリア
2. 作成するインスタンスホスト名※とそのプライベートIPアドレスの設定の追加

具体的には下記の2つです。

127.0.0.1 localhost

172.xx.xx.xx [Instance Host Name]

※ECSのインスタンスIDとインスタンスホスト名について

ECSのインスタンスIDとデフォルトで設定されるインスタンスホスト名は異なります。下記のルールで生成されます。インスタンスIDは先頭の "i-" と英数字20桁の組み合わせで作成されます。

例) i-xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

インスタンスホスト名はインスタンスIDの2桁目のハイフンを "Z" に置き換え、さらに末尾に "Z" を付け加えたものとなります。

例) i-xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx → iZxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxZ

## 3. 動作事例

下記の通り、hostsファイルに独自の設定を加えた後の動作についてしめします。

### 3-1. IPv4 localhostに独自の設定を追加した場合

<概要>

IPv4 localhost(127.0.0.1) の項目に独自のホスト名(myhostname)を追加しカスタムイメージを作成した場合。インスタンス作成後は、追加したmyhostnameが削除されます。

<カスタムイメージ作成時>

## Alibaba Cloud [ナレッジドキュメント]

カスタムイメージ利用時のhostsファイルについて

Version 1.0 (2017/2/13)

---

```
$ cat /etc/hosts
127.0.0.1 localhost myhostname
(以下略)
```

<インスタンス作成後>

```
$ cat /etc/hosts
127.0.0.1 localhost
(以下略)
```

### 3-2. IPv4 localhost 以外に独自の設定を追加した場合

<概要>

IPv4 localhost 以外で外部のサーバホストの設定(myotherserver)を追加しカスタムイメージを作成した場合。この設定はインスタンス作成後も継続して残ります。

<カスタムイメージ作成時>

```
$ cat /etc/hosts
127.0.0.1 localhost
172.x.x.x myotherserver
(以下略)
```

<インスタンス作成後>

```
$ cat /etc/hosts
127.0.0.1 localhost
172.x.x.x myotherserver
(以下略)
```

### 3-3. hostsファイルの中身を削除した場合

<概要>

hostsファイルのすべての設定を削除した場合も、インスタンス作成後にはIPv4 localhost設定および、作成したインスタンスホスト名とそのプライベートIPアドレスの設定が追加されます。

<インスタンス作成後>

```
$ cat /etc/hosts
127.0.0.1 localhost
172.x.x.x [Instance Host Name]
```

## 4. ソリューション

IPv4 localhostに対する設定の変更は、カスタムイメージからインスタンスを作成する際に削除されてしまいます。しかし、実運用環境では、IPv4 localhostにサーバホスト名を記載する場合があります。そういった環境においての対応例をしめします。

#### 4-1. サーバ起動時に変更する

サーバの起動時にhostsファイルに独自の設定を追加することができます。具体的には、Linux環境の場合、/etc/rc.localにhostsファイルの変更スクリプトを追加することで対応できます。この方法は、AutoScaling機能で作成するサーバでhostsファイルの更新が必要な場合におすすめです。

例えば、/etc/rc.localにsedコマンドなどを利用してhostsファイルを書き換えることができます。

```
# sed -i -e "s/127\.\0\.\0\.\1 localhost/127\.\0\.\0\.\1 localhost myhostname/g" hosts
```

#### 4-2. サーバ起動後に設定する

上記rc.localではサーバの再起動などの場合にも、hostsファイルの変更処理が実行されます。サーバ起動後に、手動で変更する、あるいはchefやansibleなどのコンフィギュレーションツールを利用して、hostsファイルを管理する方法もあります。カスタムイメージを利用したサーバの増減が頻繁に行われない場合にはおすすめです。

## Alibaba Cloud [ナレッジドキュメント]

カスタムイメージ利用時のhostsファイルについて

Version 1.0 (2017/2/13)

---

### ご利用上の注意事項

この資料は、Alibaba Cloudの提供するクラウドサービスの機能について説明したもので、サービスのご利用を検討する際の参考となる技術的情報を提供するものです。

今後、本資料はクラウドサービスの機能追加・変更等に合わせて、予告なく変更される場合があります。閲覧された情報は最新のものではない場合がありますので、予めご了承下さい。

### 改版履歴

日付	版数	変更内容
2017/2/13	1.0	初版作成

本文書中に記載されている社名・商品名等は各社の商標または登録商標です。